第２次刈谷市多文化共生推進計画の各取組（R7年度実績）について

目指すまちの姿と基本目標

目指すまちの姿

国籍にかかわらず全ての人が尊重され、
交流や協働がひろがるまち刈谷

- 基本目標1
  - コミュニケーション支援
- 基本目標2
  - 生活に関わる支援
- 基本目標3
  - 共生に向けた教育と交流の推進
- 基本目標4
  - グローカル人材の参画促進と関係団体との連携強化

基本目標１　コミュニケーション支援

言葉の壁や文化・習慣の違いを乗り越えて、国籍にかかわらず誰もが安心・安全に暮らし、ともに活躍できるよう、やさしい日本語での対話を基本としつつ、外国人市民の日本語能力、情報の重要性・緊急性に応じた適切なコミュニケーション（会話、情報伝達）ができるよう日本語能力の向上等の必要な支援を行います。

数値目標

指標	当初値（R4）	目標値（R15）
日本語で困ったときという設問の選択肢のうち「市役所や学校からの文書を読むとき」／「市役所の窓口で」と回答した外国人市民の割合	37.9% 26.2%	25.0% 15.0%

施策

（1）日本語教育の推進
（2）やさしい日本語の普及
（3）行政サービスの多言語提供体制の構築

基本目標1　コミュニケーション支援

		取組	目標の項目	R7 実績	R15 目標
(1)	1	日本語教室の開催	参加実人数	88人	60人
	2	各種団体の日本語教室等の広報	開催情報の提供	実施	拡充
	3	日本語教育を担う人材の育成	ボランティア登録者数	178人	220人
(2)	4	職員に対するやさしい日本語の周知や研修の実施	研修受講人数 （計画期間中の延べ人数）	33人	200人
	5	市民に対するやさしい日本語の周知	イベント等を通じた理解促進	実施	実施
(3)	6	発信する情報の多言語化	市が発信する多言語情報発信媒体への外国語での発信希望数	289件	250件
	7	市役所・各施設における通訳等	相談員の対応言語数	4言語	5言語
	8	行政サービスの多言語対応の総合的な体制づくり	指針・マニュアル作成	未作成	作成

基本目標１　コミュニケーション支援

（１）日本語教育の推進

・国際交流協会により日本語教室を支援
・愛知教育大学に学生による市内小中学校での、取り出し授業を実施。
・市内で実施される各種日本語教室の広報を実施

（２）やさしい日本語の普及

・「外国人にも伝わるやさしい日本語」に関する基礎知識の理解を深めることで市民サービスの向上を目的とする講座を入庁３年目の職員へ実施
・出前講座のメニューとして、「やさしい日本語とは」を新設

○対話型日本語教室の様子



基本目標１　コミュニケーション支援

（３）行政サービスの多言語提供体制の構築

・市ホームページに、６言語（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語）への翻訳機能

・「あいかり」にて、５言語（英語・中国語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語）による多言語での情報発信を実施

・災害時における避難情報などの緊急情報を、メール配信サービスで多言語に自動翻訳し、登録者へお知らせ

・外国人からの生活相談に応じるとともに市役所窓口等での通訳を行うため、外国人生活相談員を配置。

実績：タガログ語・英語　2,180件、ポルトガル語　2,394件、中国語　1,235件

・通訳者が保育園等へ訪問したり、タブレット内にある通訳機能を使用するなど、保護者や子どもとのコミュニケーションを支援した。（345回）

【今後実施予定の取組（基本目標１）】

・多言語対応指針・マニュアルの作成・運用（別添１）

基本目標２　生活に関わる支援

多様な外国人市民を誰一人取り残さないよう、様々な困りごとに対する相談体制を構築するとともに、外国人市民の永住化に伴うライフステージに応じた情報提供を図ります。また、防災や医療等、命や健康リスクに関わる情報の提供体制を整備します。

数値目標

指標	当初値（R4）	目標値（R15）
子育てや教育で困ったことという設問の選択肢のうち「困っていることはない」と回答した外国人市民の割合	47.0%	55.0%
地震などに対して「何らかの備えをしている」と回答した外国人市民の割合	75.0%	80.0%

施策

（１）誰一人取り残さない相談体制の構築
（２）ライフステージに応じた生活の支援と異文化対応
（３）医療・災害など命に関わる外国人対応

基本目標２　生活に関わる支援

		取組	目標の項目	R7 実績	R15 目標
(1)	9	外国人生活相談の充実	外国人生活相談員の人数	3人	4人
	10	多様な機関との連携による 相談体制の構築	相談ガイドの整備・運用	実施	実施
(2)	11	子ども・子育て家庭への支援	多言語情報提供、異文化への対応	実施	拡充
	12	教育・キャリア形成に関する支援	研修の実施	実施	実施（継続）
			語学指導員数	6人	6人
	13	保健・福祉・介護分野に関する支援	多言語情報提供、異文化への対応	実施	拡充
	14	日本での生活の早期適応の支援	ウェルカムパックの配布	実施	実施
(3)	15	医療における多言語対応	医療通訳情報の周知	拡充	拡充
	16	災害に関する外国人対応	外国人市民向け防災講座参加者数	24人	40人

基本目標２　生活に関わる支援

（１）誰一人取り残さない相談体制の構築

・外国人市民が母語により生活相談を受けられる窓口3人（英語・中国語・ポルトガル語・タガログ語 ）を配置

・外国人市民の困りごと相談つなぎ方ガイドin刈谷（別添２）について、外国人コミュニティ（フィリピン・ベトナム・ブラジル）と連携し、多言語（英語、ベトナム語、ポルトガル語）のガイドを作成

基本目標２　生活に関わる支援

（２）ライフステージに応じた生活の支援と異文化対応（子育て・教育関係）

・児童手当の手続案内の通知について多言語対応（3ヵ国語：英語、中国語、スペイン語）の文章を記載
・幼児園・保育園、小学校等、子育て関連行事（６行事）への通訳の派遣
・外国語版母子健康手帳の交付（10か国語）
・乳幼児健康診査アンケート（5か国語）、予防接種予診票等（4か国語）の多言語対応
・語学指導員を６名配置して学校だより等の翻訳を実施した
・日本語適応担当教員を２２人配置し、研修も年２回実施した。
・２校に４名の語学相談員を配置し、プレスクールを設置した（語学相談員はタガログ語とポルトガル語に対応、プレスクール参加生徒数49人）
・愛知県やブラジル教育省及びブラジルに所在する大学と連携したブラジル人児童への日本語学習支援プログラムを実施
・外国籍の子どもたちのための進路説明会を実施（５０名参加）

基本目標２　生活に関わる支援

（２）ライフステージに応じた生活の支援と異文化対応（福祉関係・その他）

・介護保険料の臨戸訪問の際には、英語や中国語などに翻訳した訪問票を活用

・国民年金制度、福祉医療及び国民健康保険に関する外国語案内を配付

・外国人市民ウェルカムパック（各外国人コミュニティのSNSや生活に役立つ情報を掲載）（別添３）を作成し、市民課窓口において配布

・国・県・NPO等が発信する生活に役立つ情報を各外国人コニュニティへ周知し、各コミュニティからSNSを活用して発信

基本目標２　生活に関わる支援

（３）医療・災害など命に関わる外国人対応

・市ホームページにおいて、あいち医療通訳システムに関するリンクを貼り、外国籍の市民等に外国人に対応する医療機関の情報を周知
・国際交流協会主催の生活に役立つ日本語を習得するための「生活日本語教室」の中で外国人向けの防災講座を実施した。（参加者：24名）
・避難所運営マニュアルにおいて、要配慮者支援班による配慮を明記するとともに、「トイレを使うときの注意」の多言語での掲示物を配備（37箇所）
・避難所・福祉避難所等にコミュニケーション支援ボードを配備

【今後実施予定の取組（基本目標２）】
・「外国人市民の困りごと相談つなぎ方ガイドin刈谷」を活用し、外国人コミュニティ等と連携した同じ国籍の人同士で相談し、助け合える体制を整備。
・ベトナム人コミュニティによる母語教室を実施。

基本目標３　共生に向けた教育と交流の推進

地域に外国人市民がいることが当たり前になってくることを踏まえ、外国人と日本人の相互理解が進んでいないことによるお互いの不安な気持ちを解消するため、地域、学校、公共施設など様々な場で、国際理解教育や多文化交流の機会充実を図ります。

数値目標

指標	当初値（R4）	目標値（R15）
「地域の日本人と既に十分に交流している」と回答した外国人市民の割合	23.7%	35.0%
外国人市民が増えることに対して「不安に思うことはない」と回答した日本人市民の割合	13.5%	25.0%

施策

（１）国際理解教育の推進
（２）多文化交流の促進
（３）都市間交流・国際貢献

基本目標3　共生に向けた教育と交流の推進

		取組	目標の項目	R7 実績	R15 目標
(1)	17	学校における国際理解教育の推進	講座を実施した学校数	2校	2校
	18	地域における国際理解教育の推進	講座の参加者数	134人	80人
	19	多文化共生への意識啓発	周知のための広報件数	1件	4件
(2)	20	地域における多文化交流の促進	多文化交流活動における 参加人数・外国人割合	478人 23%	1,000人 45%～55%
			交流活動が行われている地域の数	2地区	4地区
	21	国際プラザ等での多文化交流 イベントの実施	イベント参加者数	800人	1,000人
(3)	22	姉妹都市交流	市民団等受入・市民派遣	未実施	実施（継続）
	23	先進的取組の発信	先進的取組の発信	拡充	拡充
	24	国際貢献	国際貢献の取組	実施	実施（継続）

基本目標３　共生に向けた教育と交流の推進

（１）国際理解教育の推進

・刈谷北高校国際探究科や亀城小学校からの希望に応じて、講義やグループワークを通して、刈谷市の多文化共生施策、地域における多文化共生において大切なことや課題、地域と外国とのつながりなどに関する理解を深める講座を実施

・国際交流協会において、国際理解のための講座やイベントを実施
チェコのクラシックギター演奏会　参加者：１０７人
国際理解講座「世界をのぞこう！」ネパール編　参加者：小・中学生２７人

・多文化共生への意識啓発を目的に、地域の外国人と日本人の交流の場の創出に取り組むボランティア団体「ワールド・スマイル・ガーデン」や「輪～る ど・ビレッジ小垣江」の活動を地域住民に周知するため、広報紙（別添４）を作成し、 ホームページ等で広報

基本目標３　共生に向けた教育と交流の推進

（２）多文化交流の促進

・地域の外国人と日本人の交流の場の創出に取り組むボランティア団体である一ツ木地域の「ワールド・スマイル・ガーデン」及び小垣江地域の「輪～る ど・ビレッジ小垣江」の交流活動の実施に向けた検討を支援

・市民交流センターを会場として、外国人市民や日本人市民が遊びや文化紹介などを通して、交流を深めることを目的に刈谷市国際交流協会主催で開催するイベント「多文化交流フェスタ in刈谷」（別添５）の開催を支援（アジア交流サロンや民族衣装ファッションショー、各国の文化紹介など、楽しんで世界を知ることができる企画を実施）

・ミササガパークにおいて、近隣に住むカナダ人と一緒にカナダデーをお祝いし、カナダ文化を体験しながら、小さなお子様から大人まで楽しんでいただくことを目的としたしたイベント「カナダ・ミササガフェア」を開催（カナダで人気のスポーツであるストリートホッケー体験やカナダやミササガにちなんだクイズラリーなどを実施）

基本目標3　共生に向けた教育と交流の推進

○多文化交流フェスタ in 刈谷の様子



カナダ・ミササガフェアの様子





基本目標３　共生に向けた教育と交流の推進

（３）都市間交流・国際貢献

・ミササガ市副市長が刈谷を訪問し、歴史博物館やミササガパークを見学し、国際交流協会からこれまでの姉妹都市交流の歴史に関する紹介を行った。

【今後実施予定の取組（基本目標3）】

・新たな地域における多文化交流活動の創出

○現在実施されている多文化交流活動

・ワールド・スマイル・ガーデン（一ツ木地域）

・輪～る・ビレッジ小垣江（小垣江地域）

基本目標４ グローカル人材の参画促進と関係団体との連携強化

年齢構成が若く多様な価値観を持つ外国人市民や、海外赴任経験のある企業の社員及びNGOスタッフなどのグローカル人材を重要なリソースパーソンと位置づけ、地域、学校、公共施設など様々な場における国際化・多文化共生の取組に参画できるような機会の創出や仕組みづくりを行います。また、刈谷市国際交流協会、外国人コミュニティ、企業等と理念を共有し、連携して活動に取り組みます。

数値目標

指標	当初値（R4）	目標値（R15）
地域に暮らすコミュニティの一員として役に立ちたいと「とても思う」と回答した外国人市民の割合	23.0%	30.0%

施策

（1）グローカル人材の活躍促進
（2）外国人コミュニティへの支援と連携
（3）関係団体との連携強化

基本目標４ グローカル人材の参画促進と関係団体との連携強化

		取組	目標の項目	R7 実績	R15 目標
(1)	25	外国人市民の行政・地域活動への参画促進	外国人の委員数	4人	4人（維持）
	26	グローカル人材の活躍促進	グローカル人材による講座・ イベントの実施回数	8回	10回
(2)	27	外国人コミュニティ支援	外国人コミュニティへの支援	実施	実施（継続）
	28	外国人コミュニティとの連携	「つなぎびと」の人数	0人	10人
(3)	29	国際交流協会との連携強化	国際プラザ利用者（年間延べ人数）	9,858人	11,000人
	30	企業等との連携	多文化共生イベント等に関する 企業内広報への協力企業数	4社	10社

※グローカル人材・・・「グローカル」とは、「グローバル（global、世界）」と「ローカル（local、地域）」を掛け合わせた造語。グローバルに物事を考える視点を持ち、その視点を活かして地域経済や社会に貢献する活動を行う人材のこと。

基本目標４ グローカル人材の参画促進と関係団体との連携強化

（１）グローカル人材の活躍支援

・国際理解推進を目的とした各学校で実施するワールド・スタディ講座を実施するとともに、国際交流協会やボランティア団体が実施する国際理解促進に寄与する講座・イベントの実施を支援した。

【グローカル人材により実施講座・イベント】
ワールドスタディ講座、国際理解講座「世界をのぞこう」、多文化交流フェスタin刈谷、コミュニティガーデン収穫祭

（２）外国人コミュニティへの支援と連携

・フィリピン人コミュニティ「SBK」、ベトナム人コミュニティ「VNK」、ブラジル人コミュニティ「Oasis Brasil」とのミーティングを実施し、「多文化交流フェスタ in 刈谷」への参画支援、母国の祝日を祝うイベントの開催支援や生活に役立つ動画作成・発信の支援を行った。

基本目標４ グローカル人材の参画促進と関係団体との連携強化

（３）関係団体との連携強化

・刈谷にぎわいオフィスが実施するにぎわい連絡会などの場において、国際交流協会と刈谷にぎわいオフィスとの連携などに関して情報交換を行った。
・ワールド・スマイル・ガーデンの活動に継続的にアイシン学園の海外研修生が参加した。
・外国人従業員が多く勤務している企業に対して、国際交流・多文化共生に関するイベント等の企業内広報を依頼し、ネットワークづくりを進めた。

【企業内広報実施企業】

日本語教室　４社　多文化交流フェスタ　４社

【今後実施予定の取組（基本目標４）】

・外国人市民の「つなぎびと」（同じ国籍の人の困りごとに対して相談に乗り、適切な機関につなぐ人）としての活躍支援
・刈谷にぎわいオフィス等との連携した事業実施